

2016年
8/24

レコード人気復活

HMV、新宿に新店

音楽CD販売大手のローソンHMVエンタテイメント（東京）が、アナログレコード事業を強化するため

東京・新宿に専門店をオープンすることが二十三日、明らかになった。CD販売がインターネットでの視聴に押されて落ち込む中、レコードは音の温かみなどが見直され、往年のファンや若者の間で人気が復活している。HMVは新たなファン獲得につなげたい考えだ。

十月一日に「HMVレコードショップ新宿ALTA（アルタ）」を開店、中古を中心にレコード約七万点、CD約二万点を品ぞろえする。中古レコードは一枚三百円のものもあれば、十万円を超える商品もあるという。プレーヤーも一万円前後から用意した。坂本

健社長は「中古は自分で探すのが楽しみ。出会いが大切」と店舗展開の狙いを説明する。

HMVは二〇一四年、渋谷に一号店を試験的に出店。当初は三十代以上の男性ファンを顧客に想定していたが、レコードを初めて聴く若者や、ジャケットをインテリアにしたい女性客が増加。売上高も前年比三割増で推移しており、国内最大級の中古レコード市場である新宿への出店を決めた。主要都市で三店舗目の出店も検討している。

アナログレコードは米国を中心に海外でもブームとなっている。国内でも新曲をレコードで出す若手アーティストの増加などで、五年の生産量は五年前に比べ六倍以上となる六十六万枚に上った。